

カラーコーディネート実践

基礎編

2013年5月8日(水) 14:00~16:00

講師：ビリーブカラーオフィス代表 信海 菜美氏

講座概要：レジュメ「ジュエリー販売に役立つカラーコーディネートについて」と資料「カラーハーモニックチャート」が配布され、色彩学の基礎解説、カラーハーモニックチャートの見方とカラー紙を使ったグループ実習が行われ、最後に、色石別のカラーコーディネート解説とカラー紙を使ったグループ実習を通じて、カラーコーディネートの基本を学んだ。

<色彩学の基礎>

色を2つに大きくわける 有彩色と無彩色

色の三属性=色のものさし(特徴)

- ・色相・・・色みのこと ex.赤・黄・青 など
- ・明度・・・明るさのこと
- ・彩度・・・色の鮮やかさのこと

配色を考える便利なトーン概念

トーン・・・色の調子のこと

- ・明度(明るさ)と彩度(鮮やかさ)の複合概念
- ・色をイメージでとらえる
- ・本来、色の三属性の3軸によって三次元で表現される

色の世界を簡易的に二次元で表現

トーン + 色相 であらわす

ex. 明るい赤 暗い黄 淡い青

<カラーハーモニックチャートの見方>

カラー紙を使ってグループごとにカラーチャートを作成

- ・色相は番号であらわす 2番は赤、8番は黄
- ・トーンはアルファベットであらわす

v2 は明るい赤 dk8 は暗い黄

<配色を考える前に>

「色相を手がかりに考える(色相差で考える)」「トーンを手がかりに考える(トーンどうしの距離で考える)」そして「色相とトーンの両面から考える」の手順にて、2枚のカラー紙を使ってどんな配色になっているか確認。

<カラーコーディネートの基本>

1. 配色のポイントは2つ

①なじませる（色相やトーンをまとめる）

統一感が得られ、安定した配色

②引き立てる・コントラストをつける（色相やトーンに差をつける）

新鮮さや明快感がある配色

2. なじませる

同系配色で、明度差を大きくとる配色法の「トーンオントーン（色相をまとめる）」と同じトーン（色調）でまとめる配色法の「トーンイントーン（トーンをまとめる）」をカラー紙と色石を使って確認。

3. 引き立てる

色相環上で反対側になり、お互いに引き立てあう色同士を組み合わせる「捕食色相配色（色相差を最大にとる）」とあいまいな配色に目立つ色などの正反対の要素を持つ色を投入し、配色全体を調和させる「アクセントカラー（色相やトーンに差をつける）」についてカラー紙を使って確認。さらに、カラージュエリーをアクセントカラー（強調色）とするのがとても効果があることも確認された。

以上

会場：JJA 会館 3F 大会議室

参加者：33名（申込 41名）

<アンケート集計>

1. セミナーについて

①セミナーは全体的にどうでしたか?	「良い」	<u>22</u>
	「やや良い」	0
	「やや悪い」	0
	「悪い」	0

②セミナーの時間は	「長い」	3
	<u>「適当」</u>	<u>18</u>
	「短い」	1

③セミナーの内容は	「良い」	<u>21</u>
	「やや良い」	1
	「やや悪い」	0
	「悪い」	0

④講師について	「良い」	<u>22</u>
	「やや良い」	0

「やや悪い」 0

「悪い」 0

2. 自由意見

- ・とても楽しく受講させていただきました。
- ・レジュメもカラーの方が良かった。
服のコーディネートスライドも紙でプリントして欲しかった。
- ・具体的にジュエリーのおすすめのアドバイスが聞けて良かったです。
実際に自分たちで考えながら勉強が出来良かった。
- ・スクリーンが見難かった。
- ・続編が楽しみです。
- ・色のことが少しわかった気がした。
- ・グループでのトーン分けは興味深い作業で面白かった。
色立体があるともっと分かりやすかった様にも思いました。
有意義な2時間ありがとうございました。
- ・カラーの知識が楽しかった。
- ・先生や助手の方が席をまわってくれて、全体の空気が良かったと思う。
- ・日頃なんとなく使っていたことが、とても明確になりました。
- ・初めて色について勉強しました。
グループで色のトーンを並べるのは大変でしたが、普段の服のコーディネートにも役立つので参加してよかったです。
- ・実践ができたので理解もしやすかったです。
カラー資料も頂けたので、現場でもどんどん活用したいと思います。
- ・頂いたコピーのカラーコピーが欲しいです。
また応用編に参加したく思います。
- ・とても楽しかったです。生活にも取り入れたいです。
- ・色についてとても親しみを持ってました。
もっと色を取り入れて生活を楽しまたいと思います。(仕事にも役立てます)

3. 今後希望するセミナー

- ・ダイヤモンドのデザインについて
- ・宝石の原産地などについて。(石も産地で色あい異なったりする理由など)
- ・実技が分かるものやバイヤーさんのコツ等
- ・いろいろな角度からのセミナーを希望します。
- ・実践しながらのものが良いです。(グループワーク等)

以上